

平成26年度 社会福祉法人 友愛の里事業報告

1. 理事会・評議員会・監事会について

(1) 5月19日 監事会

出席者：佐藤監事・井上監事・理事長・園長・事務主任

監査内容：経営事業所の事業並びに会計監査

結果：関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正に処理されていると認められた。

(2) 5月26日 第1回 評議員会・第1回 理事会開催

理事会

出席者：理事6名、監事2名、欠席なし

評議員会

出席者：評議員11名、監事2名、2名欠席

決議事項

・平成25年度 法人及び経営事業所の事業報告並びに決算報告について

① 社会福祉法人 友愛の里の事業報告並びに決算報告

② 障害福祉サービス事業所友愛園の事業報告並びに決算報告

③ 最上障害者就業・生活支援センターの事業報告並びに決算報告

④ 最上相談支援事業所の事業報告並びに決算報告

・監事監査報告

(3) 7月11日 臨時 理事会開催

理事会

出席者：理事5名、監事2名、欠席1名

決議事項

・利用者の死亡事故の報告並びに今後の対応と対策について

(4) 11月26日 第2回 評議員会・第2回理事会開催

理事会

出席者：理事6名、監事2名、欠席なし

評議員会

出席者：評議員13名、監事2名、欠席なし

報告事項

利用者の死亡事故について

決議事項

・平成26年度 法人及び経営事業所の補正予算について

① 社会福祉法人 友愛の里の1次補正予算（案）について

② 障害福祉サービス事業所友愛園の第1次補正予算（案）について

③ 最上障害者就業・生活支援センターの第1次補正予算（案）について

④ 最上相談支援事業所の第1次補正予算（案）について

⑤ 生活困窮者自立相談支援事業並びに就労準備支援事業の企画提案公募の申請

(5) 平成 27 年 3 月 18 日 第 3 回評議員会・第 3 回理事会開催

理事会

出席者：理事 6 名、監事 2 名、欠席なし

評議員会

出席者：評議員 8 名、監事 2 名、欠席 5 名

報告事項

- ・天皇陛下からの「御下賜金」拝受について
当法人が運営する、障がいサービス事業所「友愛園」が平成 26 年 12 月 22 日、県庁において、副知事より、天皇陛下からの御下賜金を拝受した。
- ・山形県最上地域生活困窮者自立相談支援事業並びに就労準備支援事業の企画提案の結果について

※ 生活困窮者自立相談支援事業とは

生活に困りごとや不安を抱えている場合は、まずは地域の相談窓口にご相談に行く。支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒を考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

※ 生活困窮者就労準備支援事業とは

「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に 6 カ月から 1 年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

決議事項

- ・山形県最上地域生活困窮者自立相談支援事業並びに就労準備支援事業の受託について
上記事業の、平成 27 年度新事業開始に向け、立ち上げ準備を行った。
- ・平成 26 年度 法人並びに事業所の資金収支補正予算（案）について
 - ① 法人の第 2 次補正予算（案）について
 - ② 友愛園第 2 次補正予算（案）について
 - ③ 最上相談支援事業所第 2 次補正予算（案）について
 - ④ 最上障害者就業・生活支援センター第 2 次補正予算（案）について
- ・定款並びに諸規定の一部改正（案）について
 - ① 定款の一部改正（案）について
 - ② 定款施行細則の一部改正（案）について
 - ③ 経理規程の一部改正（案）について
 - ④ 個人情報保護規程の制定（案）について
 - ⑤ 生活困窮者自立相談支援事業所運営規程の制定（案）について
 - ⑥ 生活困窮者就労準備支援事業所運営規程の制定（案）について
- ・平成 27 年度法人並びに事業所の事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について
 - ① 法人の事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について
 - ② 友愛園事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について
 - ③ 最上相談支援事業所事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について
 - ④ 最上障害者就業・生活支援センター事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について
 - ⑤ 生活困窮者自立相談支援事業所事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について
 - ⑥ 生活困窮者就労準備支援事業所事業計画（案）並びに資金収支予算（案）について

平成26年度 友愛園事業報告書

(就労継続支援B型事業)

1. 利用者の状況について

(1) 利用者の動向 ※ 平成26年4月1日より、定員が28名から38名に変更

入所者数 7名

- ・男性 19歳 真室川町 (新庄養護学校高等部卒業) 4月1日入所
- ・男性 23歳 新庄市 (就労後在宅) 4月1日入所
- ・女性 16歳 新庄市 (新庄中学校卒業 就労移行事業利用後) 5月1日入所
- ・男性 36歳 舟形町 (就労後在宅) 11月1日入所
- ・女性 42歳 舟形町 (就労後在宅) 11月1日入所
- ・男性 27歳 新庄市 (就労移行から事業変更) 2月1日
- ・女性 48歳 最上町 (就労後在宅) 2月1日入所

(2) 年齢構成

平成27年3月31日現在 (人)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	1	4	7	11	2	0	25
女	1	3	2	7	3	2	17
合計	2	7	9	18	5	2	43

(平均 40.13歳 男性38.32歳 女性45.17歳)

(3) 利用者の出身地

平成27年3月31日現在 (人)

	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	尾花沢市	合計
男	15	1	1	2	2	2	0	1	1	25
女	10	1	1	2	2	0	2	0	0	18
合計	25	2	2	4	4	2	2	1	1	43

(4) 施設の利用状況 (出欠状況)

① 1日の平均利用者数 37.89人

② 長期欠席者

男性：家の都合 86日間 (自宅で農業)
 持病悪化 6日間 (受診・自宅療養)
 自己都合 57日 (除雪他)

女性：家の都合 153日間 (自宅で家事手伝い)
 インフルエンザ 6日間 (受診・自宅療養)
 自己都合 57日 (除雪他)

2. 生産活動について

(1) 平成 26 年度の作業収入と工賃について

(単価：円)

	就労継続支援 B 型
作業収入	36,000,438
工賃総額	12,525,205
平均年間工賃 (1人当たり)	320,322
前年度比	前年度総収入より1,458,271円 増

(2) 生産活動状況

- ① 木 工 科：平成 26 年度は、昨年度以上に忙しい日々を送ることができ、利用者の方々も充実した生産活動を送ることが出来たと思います。
特に、昨年金山町で開催された全国育樹祭の県内向け記念品に、当園のティッシュケースが選ばれ、3,500 個もの数を製作する事になり、木工科だけでは対応できず他の科の職員や利用者から手伝ってもらい納品することが出来ました。
平成 27 年度も充実した毎日が送れるよう、木工家全員で頑張っていきたいと思えます。
- ② 組立加工科：軽作業が大変順調で、1 年を通して継続的に作業を行う事が出来、昨年度と比較して収入が 1.5 倍以上になり、150 万を超える大幅な収入増となった。
お祭り用飾り花の収入は、ほぼ昨年度と同様であった。
- ③ 家 庭 科：昨年のバザー等の販売回数は減少している。年 2 春・冬のチェリーランドでのバザーは、客数も多いためか売り上げも毎回安定している。
ネット販売では、定期的に新商品の開発を行い、ネットに掲載して売り上げも毎年少しずつのびている状況。
又、今年度も特別養護老人ホームの利用者さんの利用する食事用エプロンの受注は継続いただいている。
- ④ 食品トレー・リサイクル科：
昨年同様、再生機のトラブルも少なく、順調に流れた。トレイの回収量は横ばいである。フラフのペレット化に加えて、ペレットの二度がけも増えてきている。
昨年取り付けた、デマンドのおかげで、電力の消費量もリサイクル科のみでなく、全体に下がって来ている。

・今後の見通しについて

- ◎ 全体的に生産活動が順調で、収入も伸びてきている。それに比例して工賃も引き上げられている(時給 110 円から 140 円にアップ)。
定員を 10 名増員したこともあり、新規の生産活動(特に女性向けの生産活動)を早急に検討し、具体化していけるよう展開していきたい。

(就労移行事業)

1. 利用者の状況について

(1) 利用者の動向

入所者数 2名

- ・女性 19歳 最上町 (就労後在宅) 10月1日入所
- ・男性 22歳 新庄市 (就労継続支援B型から事業変更) 3月1日

退所者数 1名

- ・男性 (就職) すてっぷハウス (障がい福祉サービス事業所) に正式採用 (3月23日付)

(2) 年齢構成

平成27年3月31日現在(人)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	2	1	0	0	0	3
女	1	1	0	0	0	0	2
合計	1	3	1	0	0	0	5

(平均 24.6歳 男性27.0歳 女性21.0歳)

(3) 利用者の出身地

平成27年3月31日現在(人)

	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	合計
男	1	0	0	1	0	0	0	1	3
女	0	0	1	0	1	0	0	0	2
合計	1	0	1	1	1	0	0	1	5

(4) 施設の利用状況 (出欠状況)

1日の平均利用者数 5.94人

2. 生産活動について

(1) 平成26年度の作業収入と工賃について

(単価:円)

	就労移行支援事業
作業収入	6,426,300
工賃総額	1,869,939
平均年間工賃 (1人当たり)	305,222
前年度比	前年度総収入より1,300,005円 増

(2) 生産活動状況

印刷科:今年度は収入面で、前年度比で20%程増加した。

内容としては、例年通りの注文に加えて行政からの注文が増えた。

優先調達推進法の影響があったものと思われる

その他の生産活動:バザーの開催が例年に比べ少なかったため、収入面で伸び悩んだ。

今年度は、新規に食品(芋煮カレーうどん)も手がけ、2つのバザーで販売し15万円を売り上げた。

・今後の見通しについて

◎ 今年度は、1名が就職した。(障がい福祉サービス事業所 支援員)

障害者優先調達推進法の施行により、昨年度と比較し行政からの受注が153%の伸びとなった。今後も、昨年を引き続き、事業所での就労支援に加え、障害者就業・生活支援センターとも連携をとり、企業等に対し、障害者の法定雇用率変更の周知や、実習先の確保に努め、就労につなげていきたい。

3. 就労と自立支援について

実習 (1名)

No.		実習期間	実習場所
1	男	H27.3.9 ~ H27.3.20	すてっぷハウス

就職者 (1名)

No.		就職先
1	男性 (22歳)	すてっぷハウス

(生活介護事業)

1. 利用者の状況について

退所者数 1名

・男性 平成26年7月7日 死亡 (享年41歳)

(1) 年齢構成

平成27年3月31日現在 (人)

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	2	0	0	1	0	3
女	0	0	1	2	0	0	3
合計	0	2	1	2	1	0	6

(平均 37.66歳 男性34.66歳 女性40.66歳)

(2) 利用者の出身地

平成27年3月31日現在

	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	合計
男	2	0	1	0	0	0	0	0	3
女	3	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	5	0	1	0	0	0	0	0	6

(3) 施設の利用状況（出欠状況）

1日の平均利用者数 5,74人

長期欠席者

男性：95日（膝の手術とリハビリ）

女性：5日間（家の都合）

2. 活動について

(1) 日課

曜日 時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:30 ~ 10:00	・朝礼 ・好きな活動（読書 ビデオ鑑賞など） ・運動（ストレッチやラジオ体操 他）				
10:15 ~ 12:00	生産活動 （祭りの造花作り・桜の花作り・額貼りなど）				
12:00 ~ 13:00	昼食 歯磨き支援 運動（縄飛び・ボール遊びなど）				
13:00 ~ 14:00	生産活動 （祭りの造花作り・桜の花作り・額貼りなど）				
14:00 ~ 15:50	字や名前の練習	おどり 楽器演奏	輪投げ ボーリング 風船遊び	歯磨き支援 衣類のたたみ 方	カラオケ
	その他、散歩や植物栽培など季節や天候により変更あり				

① 曜日毎に、活動内容（体操・音楽・製作・カラオケ・清掃支援等）に変化を持たせ、支援の充実を図った。

(2) 生産活動（3時間）

① 作業では桜作り・桜の額貼り、針金入れ等を中心とし、最盛期には松開き、松切り作業にも取り組んだ。新庄祭の山車に飾られる事を楽しみに、又励みにしながら日々の作業を頑張ることが出来た。

・今後の見通しについて

◎ 生活支援の時間の充実を図って行くために、基本的な生活習慣を身につける支援や、運動。絵を描いたり字を書いたり、楽器を使って合奏したり、散歩・植物栽培・ビデオ鑑賞・カラオケ等々を行うなど、曜日毎にプログラムを組んで変化を持たせた。又、野菜や花を植え成長の観察を楽しむことが出来た。

今後も自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、様々な活動を取り入れて必要な支援を行っていききたい。

(全体の活動について)

(1) 利用状況

- ・ 就労継続B型事業の定員を増員した事もあり、平成27年3月31日現在の利用者数は54名となっている。
家庭の事情で、長期欠席者が4名ほどいるが、今年度はインフルエンザ罹患者は1名で、事業所内での感染もなく、公共機関の乱れや運休なども少なかった。
7月に、思わぬ事故で生活介護事業を利用していた男性が亡くなった。それに伴い、園内で安全推進委員会を立ち上げ、(食品)(機械設備・化学薬品)(運動・スポーツ)それぞれの部門について安全確認を行った。

(2) 苦情処理について

- ・ 家庭訪問の際、利用者の母親から、利用者は、魚を食べないので、給食時、魚の献立の日にはふりかけを持たせてもよいか相談があった。

↓

給食の業者と相談し、魚の献立の日には、肉の献立に変更してもらうことにした。

(3) 地域社会との交流について

6月17日

・社会見学旅行

団体行動を通して、社会性やマナーを養う。旅行に参加し楽しい一日を過ごす事を目的に、今年度は、6月にリニューアルオープンする加茂水族館をメインにしたコース設定を行った。

昨年に続き今年度も保護者の方と一緒に社会見学旅行となった。利用者49名、保護者28名、職員13名 計90名の参加。最初に鶴岡市でさくらんぼのもぎ取り食べ放題を体験し、庄内観光物産館で昼食と買い物をし、午後から加茂水族館に行き、クラゲの大水槽やいろいろな海の生き物を見て楽しんだ。残念ながらアシカ・アザラシショーは時間が合わず鑑賞できなかった。

7月5日・6日・12日・13日

・第21回友愛園福祉まつり

利用者が製作した製品の販売を行うことと、施設内の見学をしてもらい、施設への理解を得る事を目的に、7月第1・2土日の2週にわたり開催した。市町村の広報誌、お知らせ版、各新聞社、に掲載していただき、集客を図った。また、来園された方々に抹茶のサービスや、保護者の方の協力による模擬店も好評であった。その他に、看板や旗などを設置したり、ポスターを掲示して、会場の周知を図った。

7月6日に思わぬ事故があり、2週目の福祉祭は、利用者は休園とし、職員のみが交代で販売を担当した。

12月26日

・感謝の会

一年の労をねぎらうために感謝の会を開催した。例年餅つきを行っていたが、今年度はみんなで納豆汁づくりを行った。新庄市長はじめ総合支庁の課長等17名の来賓の出席をいただき、総勢101名の参加で、みんなで会食をし、交流を深めることが出来た。

・第 29 回友愛園市民ふれあい大運動会

今年は、利用者に思いがけない不幸があり、運動会開催について関係者と相談の上、今年度は自粛することとした。

・各種催し物への参加

今年度も市町村で行うイベントや、関係団体の企画する製品展示即売会に積極的に参加した。地元の最上大産業まつりを始め、バザーなどで製品を販売し、周知と理解を深めた。初めての試みとして、食品（芋煮カレーうどん）の販売提供をし、3日間のバザーで375食売り上げた。

(4) 天皇陛下より御下賜金を拝受

民間の社会福祉事業奨励のため天皇陛下が毎年贈られている御下賜金（ごかしきん）を友愛園が拝受致しました。御下賜金は毎年、各都道府県で1施設か1団体に贈られており、最上地方では20数年ぶり。

平成26年12月22日（月）御下賜金の伝達式が県庁で行われ、副知事から友愛の里の柿崎理事と、友愛園長に御下賜金が手渡されました。（翌日の山形新聞に掲載される）

※ 御下賜金とは…天皇誕生日(12月23日)に際し、天皇陛下から社会福祉事業御奨励の思召により、民間福祉事業に係る事業成績優秀な施設・団体に対して、金員が下賜されるものです。

(5) 安全推進委員会

職員が3部門（食品 / 機械設備・化学薬品 / 運動・スポーツ）に分かれ、利用者安全対策推進委員会を立ち上げ、定期的に、安全確認や検討会議を行い、利用者の安全確保に努めている。

食 品 : 咀嚼・嚥下困難者の確認や危険性を伴う食材・きざみ等の提供の方法。
食べられない食物の変更（魚→肉 等）。

機械設備・化学薬品：園内における機械設備・科学薬品等を安全な管理方法。
施設内外の危険箇所の点検。

運動 ・ スポーツ：運動関係の安全性について
・運動器具の点検表で定期的に安全確認をおこなう。

AED（自動体外式除細動器）を事務所に設置した。

(6) 視察・見学者

友愛園への見学者は1年間に312名。

主な見学者としては最上総合支庁地域福祉環境部長や各団体などで、遠くは大阪府からも来園いただいた。

(7) 健康管理について

- ① 年 2 回行っている健康診断や、毎月行っている体重測定をもとに嘱託医から指導を受け、生活習慣病やその他の疾病の予防と早期発見に努めた。医師からは、肥満傾向の人が多くことと、感染症（インフルエンザ・おたふく風邪等）が長引く傾向にあるので注意するよう話しがあった。また、毎日のラジオ体操や、作業科毎のストレッチの他、昼食後の休憩時を利用し、サッカー、バスケット、卓球等々の球技や、なわとび・バドミントン等をして楽しんで運動することが出来た。合わせて、スクワットなど筋力体操などを行い健康維持に努めた。
- ② 看護師の常勤配置で、より適切な健康管理が行えるようになった。血圧、検温、体重等の定期的な健康観察のほか、服薬管理、感染予防のための措置や、体調不良を訴えられない利用者の疾病の早期発見につながった。

(8) 職員研修と人事について

① 職員研修

山形県社会福祉法人経営者協議会総会研修会・全国知的障害関係施設長等会議・生産活動視察研修・山形県障がい者相談支援従事者研修・東北地区社会就労センター協議会職員研修会・山形県障がい福祉課長との懇談会及び施設長研修会・山形県社会福祉振興会事務担当者研修会・山形県サービス管理責任者研修・山形県児童発達支援管理責任者研修・生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練事業のモデル事業実施に関するガイドラインに沿った就労支援担当者養成講座・ネットショップ研修会・生活困窮者自立支援ミニ研修会・社会福祉法人役職員研修会・全国社会就労センター長研修会・ふれ愛会総会研修会

② 職場内職員研修

- ・ AED の使い方（アルソック担当者より）
- ・ 窒息時の対応について（ハイムリック法・体位など）（杵淵医師より）

- ③ 各種研修に参加し、今後の事業に関わるいろいろな情報を習得、学習することが出来た。また、職場内職員研修や施設外職員研修を行い、知識や見識を高める事ができた。

④ 職員人事

新規採用 臨時職員 1 名

- ・ 就労継続支援 B 型事業 生活支援員（日給制臨時職員）

(9) 防災について

例年通り、年 2 回の避難訓練を行った。災害発生時に利用者を安全且つ迅速に避難誘導させる事を訓練し、万が一の災害に備えると共に職員、利用者の災害に対する意識の向上を図る事を目的として、第 1 回目は 10 月 28 日、消防署の方 2 名の立会いの下、木工室からの火災を想定して避難訓練を行った。雨天のため、厚生ホールを集合場所とした。避難時間は、2 分 20 秒。「日頃の訓練が重要である」と消防署の方の話があった。

2 回目は 3 月 27 日、食堂からの火災を想定した避難訓練を行い、災害に対する意識の向上を図った。避難時間は 2 分 30 秒。避難する態度や行動が大変良くできていた。全員、口や鼻をハンカチ等で押さえていて、日頃の訓練の成果が出てきている。との講評をいただいた。

(10) その他

寄付物品等

- ・ヤクルト 50,000円
- ・エコソリューションズ社 車いす 1台
- ・マックスバリュ東北(株) 新庄店 クリスマスケーキ、お菓子多数
- ・沼田建設(株) 餅米 30kg
- ・その他、視察された方より、お菓子等寄贈

平成26年度 最上障害者就業・生活支援センター事業報告書

1. 事業実績について

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
登録者数	102名	139名	125名	16名	382名
職場実習者数	5名	10名	11名	1名	27名
一般就労者数	11名	8名	13名	0名	32名
就労相談件数	284件	514件	713件	190名	1,701件
職場定着に向けた相談・支援件数	203件	1,133件	429件	31名	1,796件
生活相談件数	135件	786件	373件	54件	1,348件
事業主に対する相談数	—	—	—	—	994件

2. 職場開拓状況

- ・今年度は・センターの体制の充実、定着支援の強化を図るため、就業支援員が1名加配、5名の支援員体制になったため、企業への訪問の機会を多く持ち障害者の理解に努めた。
- ・ニーズに合った支援の充実に向け企業への訪問や開拓を実施、実習の提案や就労支援を行ってきた。特に今年度は中心部への就労希望者が増加したため通勤手段や住まいに関する支援が必要とされた。

3. 関係機関連絡会議開催状況について

第1回 最上障害者就業・生活支援センター関係機関連絡会 最上障がい者就労支援機関協議会合同会議

平成26年7月17日 於：最上総合支庁

参加者 構成員 21名

- ・平成25年度関係機関連絡会議事業報告及び平成26年度事業計画
- ・最上管内の障害者雇用の現況及び雇用制度について
- ・山形障害者職業センターの業務の説明
- ・最上障害者就業・生活支援センター事業報告

第2回 最上障害者就業・生活支援センター関係機関連絡会 最上障がい者就労支援機関協議会合同会議

平成26年12月16日 於：友愛園 厚生ホール
参加者：企業、就労移行支援事業所、構成員 47名
研修会の開催

- ・講演「三障害の特性及び定着を進めるための支援について」
山形障害者職業センター 主任カウンセラー
- ・講演「障害者雇用制度について」
ハローワーク新庄
- ・事例発表 「障害者雇用の取り組みと課題について」
株式会社 やすらぎ福祉センター

第3回 最上障害者就業・生活支援センター関係機関連絡会
最上障がい者就労支援機関協議会合同会議
平成27年3月20日 於：友愛園 厚生ホール
参加者：企業、就労移行支援事業所、構成員 31名

研修会

- ・講演「ジョブコーチ支援、ジョブコーチ協同支援について」
講師 山形障害者職業センター カウンセラー
- ・体験発表
ヨークベニマル下田店勤務 19歳 男子
真室川町立体育館勤務 48歳 女子

4. その他の事業

職場定着促進のための在職者の交流会の実施

「えがおのつどい」の開催状況

第1回

- ・平成26年 6月28日(土) 参加者 27名
- ・「金山町 街並み散策」ボランティアの方の説明により散策
(金山杉で建設された古い街並みと新しい街並み)
- ・交流会「シェーネスハイム金山」 ・在職者による現況報告
・現在、抱えている問題等について各自相談

第2回

- ・平成26年11月30日(日) 参加者 21名
- ・場所 新庄市民プラザ(ヘルシールーム)
- ・「怪体操と講話」
手軽にやれる運動の指導
身近な音楽に合わせ、仕事の疲れをとる運動
「疲れはその日のうちにとろう」
- ・会食 ・座談会 職場での人間関係や生活について

第3回

- ・平成27年3月22日（日） 参加者 23名
- ・「新庄の歴史めぐり」
市内の2施設の見学（新庄ふるさと歴史センター、
雪の里情報館）
- ・昔から残っているお雛様、新庄の山車の由来、雪国の知恵
などボランティアの方から説明をいただきながら見学。

広報紙の発行

- ・「えがお通信」を3回発行し、在職者にメール便で送付。
内容：職場訪問を行い在職者の仕事の紹介、情報提供、健康管理
等について
- ・当センターに来所された障がい者の方にも配布し、センターの
業務等について理解していただく。

5. 事業成果と課題

<就労相談>

- ・職場実習については、職場開拓をし、ニーズに合った実習の斡旋や「障害者職
場実習推進事業」も活用しながら支援を行った。
職場実習は、一般就労に向けての不安を軽減したり、企業から障がいを理解し
ていただく有効な機会であり、実習を行ったケースは就労につながっている。
- ・福祉サービス事業所との連携
就労移行支援事業所の利用者への実習の提案や就労に向けての支援、又、一般就労
を希望しているが訓練を必要とする方に対し、福祉サービス事業所における基礎
訓練や事業所利用の支援を行った。
- ・普通高校生で障害手帳を所持している方への支援の増加。
卒業時に就労先が決定していない学生に対し、普通高等学校と連携し実習の提案や
就労相談を行ってきた。

<定着支援>

- ・精神の方の登録の増加に伴い、一般就労への希望者が増加してきている。
実習を行い、企業と情報交換を行いつつ、理解をいただき、短時間からの就労の支
援を行ってきたが、短期間で体調を崩される方が多かった。又、高次脳機能障害、
発達障がい者の方の就労希望者も増加の傾向にあり、業種の選び方、仕事への取り
組みやコミュニケーションの取り方の支援が重要になるため、支援の資質の向上と
更にきめ細やかな支援を行っていく必要がある。
- ・知的障害者への定着支援として「ジョブコーチ協同支援」を提案、4名利用。
本人の仕事の理解や企業において障害への理解が深まり定着に成果がでている。
- ・各市町村の福祉課、企業、医療機関、保健師等関係機関と連携をもちながらケース
会議等に積極的に参加し支援を行った。

<生活支援>

- ・精神障害者への健康管理や服薬管理についての支援の増加。
- ・家庭においても金銭管理が難しい知的障害者の方に、関係機関と連携を持ちながら金銭管理の支援が多くなってきている。

6. 研修等への参加

担当職員の資質の向上を図り、適切な福祉サービスを提供するために研修会に参加

- ・障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議（労働局主催）
- ・障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック連絡会
- ・平成26年度 カウンセリングゼミナール
- ・平成26年度 障害者雇用促進セミナー
- ・山形県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会
- ・平成26年度 地域職業リハビリテーション推進フォーラム
- ・最上地区自立支援協議会主催研修会
- ・その他、必要に応じ研修会に参加

7. 職員の安全と健康管理の実施

- ・安全衛生推進研修への参加（法人）
- ・職員健康診断の実施（年1回）
- ・労務に関する法令に基づき業務を実施

平成26年度 最上相談支援事業所事業報告

1、 利用状況について

(1) 障害及び居住地別利用者

平成27年3月31日現在

	知的障害者		身体障害者		精神障害者		障害児		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
新庄市	26	24	5	7	14	12	5	4	97
金山町	1	1	1	0	0	0	0	2	5
最上町	5	1	0	0	7	2	1	1	17
舟形町	3	1	2	0	6	3	2	1	18
真室川町	3	5	1	0	6	3	0	0	18
大蔵村	4	0	0	0	1	0	1	1	7
鮭川村	1	3	0	0	1	2	0	0	7
戸沢村	2	1	0	0	6	0	0	0	9
合計	45	36	9	7	41	22	9	9	178
	81		16		63		18		

(2) 相談支援延件数

平成27年3月31日現在

	知的障害者	身体障害者	精神障害者	障害児	合計
新庄市	400	127	304	27	858
金山町	12	3	1	6	22
最上町	24	0	36	6	66
舟形町	28	6	109	15	158
真室川町	44	15	45	0	104
大蔵村	22	0	14	14	50
鮭川村	12	0	20	0	32
戸沢村	6	13	46	0	65
合計	548	164	575	68	1355

主な相談内容として

知的障害者：障害福祉サービスの利用、手帳の申請、年金の申請

身体障害者：障害福祉サービスの利用、障害に対する不安、日常生活用具の申請等

精神障害者：障害福祉サービスの利用、年金の申請、人間関係についての悩み等

障害児：障害福祉サービスの利用、学校と事業所との連携

(3) サービス利用計画とモニタリング報告書の作成数

平成27年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新庄市	計画	6	1	5	6	2	5	11	16	2	7	3	7	71
	モニタリング	27	9	7	4	6	8	11	6	2	2			82
金山町	計画	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0			2
	モニタリング	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2
最上町	計画	1	0	0	1	1	0	3	2	0	0		5	13
	モニタリング	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1		6
舟形町	計画	0	0	3	1	0	0	0	4	3	0		3	14
	モニタリング	0	3	1	2	2	0	1	1	4	2	1		17
真室川	計画	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	2	8
	モニタリング	4	2	0	1	1	2	2	1	0	1		1	15
大蔵村	計画	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0			3
	モニタリング	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0			7
鮭川村	計画	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1			2
	モニタリング	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0			4
戸沢村	計画	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	2		7
	モニタリング	1	0	0	0	0	2	3	2	1	1	3	2	15
合計	計画	8	1	8	8	4	8	16	27	5	9	6	14	120
	モニタリング	40	15	8	8	10	13	22	11	9	7	5	3	150

(4) 計画相談内容の内訳

平成27年3月31日現在

	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	合計
就労移行支援事業	13	1	3	4	3	1	0	4	29
就労継続支援A型事業	13	0	1	2	0	0	2	3	21
就労継続支援B型事業	49	3	4	8	8	2	5	2	81
生活介護事業	9	0	1	0	0	0	0	0	10
共同生活援助(グループホーム)	13	0	2	4	2	2	2	3	28
居宅介護(家事援助)	11	0	1	0	3	0	0	0	15
居宅介護(入浴介助)	2	0	1	0	0	0	0	0	3
居宅介護(通院介助)	3	0	1	0	0	0	0	0	4
重度訪問介護	1	0	0	0	0	0	0	0	1
同行援護	2	0	0	0	0	0	0	0	2
短期入所(ショートステイ)	2	0	0	0	0	0	0	0	2
児童発達支援事業	2	2	0	0	0	0	0	0	4
放課後等デイサービス	7	0	2	2	0	2	0	0	13
施設入所	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	128	6	16	20	16	7	9	12	214

2、収支の状況

収入金額	7,468,467円
内訳：サービス利用計画作成費	4,466,990円
新庄市から業務委託費	3,001,477円
支出金額	7,550,038円
内訳：人件費	7,065,887円
事務費	484,151円

3、最上相談支援事業所の成果と課題

最上地域に居住する障害者（児）又は家族等の各般の相談に応じ必要な情報を提供することで、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう支援することができた。

障害福祉サービスが総合的かつ効果的に提供されるよう必要な情報の提供を行い障害福祉サービス事業者等と連絡調整を取ることで、障害者等が安心かつ充実した日常生活を営むことができるようになった。

また、障害児においては、家族と学校と障害福祉サービス事業所が参加してサービス提供者会議を行うことでそれぞれの連携がうまくとれるようになり、障害児を持つ母親等が安心してサービスを受けられるようになった。

平成26年9月より山形県自立支援協議会相談支援ブロック推進員に指名され、精神障がいに関する相談支援の基礎知識等の研修会を行うことで、相談支援専門員の資質向上につながった。

最上地域には9ヶ所の相談支援事業所があり、今後新規利用者の分散が予想されるため、安定した事業運営のためにも新規利用者の受け入れを積極的に行う必要があると思われる。

法人名	(福)友愛の里
施設名	社会福祉法人 友愛の里
会計単位名	社会福祉法人 友愛の里

資金収支計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入	155 就労支援事業収入	42,230,000	43,092,538	△862,538	
	156 障害福祉サービス等事業収入	97,394,000	97,617,788	△223,788	
	160 公益事業収入	11,442,000	11,141,585	300,415	
	162 経常経費寄附金収入	228,000	228,000	0	
	163 受取利息配当金収入	0	1,525	△1,525	
	164 その他の収入	847,000	883,170	△36,170	
	事業活動収入計(1)	152,141,000	152,964,606	△823,606	
事業活動による支出	111 人件費支出	76,645,000	76,102,147	542,853	
	112 事業費支出	6,241,000	5,853,407	387,593	
	113 事務費支出	9,754,000	8,524,848	1,229,152	
	114 就労支援事業支出	41,710,000	42,024,535	△314,535	
	119 その他の支出	910,000	882,978	27,022	
	事業活動支出計(2)	135,260,000	133,387,915	1,872,085	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		16,881,000	19,576,691	△2,695,691	
施設整備等による収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	122 固定資産取得支出	1,640,000	1,638,400	1,600	
施設整備等による支出	施設整備等支出計(5)	1,640,000	1,638,400	1,600	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,640,000	△1,638,400	△1,600	
その他の活動による収入	175 積立資産取崩収入	1,010,000	1,010,455	△455	
	その他の活動収入計(7)	1,010,000	1,010,455	△455	
その他の活動による支出	129 積立資産支出	15,762,000	15,738,217	23,783	
	その他の活動支出計(8)	15,762,000	15,738,217	23,783	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△14,752,000	△14,727,762	△24,238	

資金収支計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:円) 2頁

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
予備費支出(10)	520,000	0	520,000	
	0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△31,000	3,210,529	△3,241,529	
前期末支払資金残高(12)	65,828,997	65,828,997	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	65,797,997	69,039,526	△3,241,529	

法人名	(福)友愛の里
施設名	社会福祉法人 友愛の里
会計単位名	社会福祉法人 友愛の里

事業活動計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収 075 就労支援事業収益	43,092,538	40,489,462	2,603,076
	076 障害福祉サービス等事業収益	97,617,788	95,147,047	2,470,741
	080 公益事業収益	11,141,585	8,823,564	2,318,021
	081 経常経費寄附金収益	228,000	100,000	128,000
	サービス活動収益計(1)	152,079,911	144,560,073	7,519,838
	費 021 人件費	77,301,909	73,274,325	4,027,584
	022 事業費	5,853,407	5,593,827	259,580
	023 事務費	8,524,848	8,543,326	△18,478
	024 就労支援事業費用	43,035,451	40,457,850	2,577,601
	028 減価償却費	2,909,567	3,476,653	△567,086
	029 国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,643,233	△1,643,233	0
	サービス活動費用計(2)	135,981,949	129,702,748	6,279,201
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	16,097,962	14,857,325	1,240,637
	サービス活動外増減の部	収 084 受取利息配当金収益	1,525	1,221
089 その他のサービス活動外収益		883,170	1,265,735	△382,565
サービス活動外収益計(4)		884,695	1,266,956	△382,261
費 038 その他のサービス活動外費用		882,978	926,955	△43,977
サービス活動外費用計(5)		882,978	926,955	△43,977
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,717	340,001	△338,284
経常増減差額(7)=(3)+(6)		16,099,679	15,197,326	902,353
特別増減の部	収			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費 041 固定資産売却損・処分損	1	0	1
	特別費用計(9)	1	0	1
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△1	0	△1	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	16,099,678	15,197,326	902,352	
繰越活	前期繰越活動増減差額(12)	82,258,454	67,756,128	14,502,326
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	98,358,132	82,953,454	15,404,678
	101 基本金取崩額(14)	0	0	0

事業活動計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:円) 2頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
動 増 減 差 額 の 部	102 その他の積立金取崩額(15)	972,000	305,000	667,000
	051 その他の積立金積立額(16)	14,500,000	1,000,000	13,500,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+ (15)-(16)	84,830,132	82,258,454	2,571,678

法人名	(福)友愛の里
施設名	社会福祉法人 友愛の里
会計単位名	社会福祉法人 友愛の里

貸借対照表

(平成27年 3月31日現在)

(単位:円)

1頁

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
001 流動資産	95,989,138	88,556,619	7,432,519	011 流動負債	21,381,325	17,608,520	3,772,805
01 現金預金	46,622,678	48,114,845	△1,492,167	02 事業未払金	19,875,033	17,400,397	2,474,636
03 事業未収金	41,464,293	35,302,267	6,162,026	15 職員預り金	214,258	208,123	6,135
12 商品・製品	2,759,671	2,372,814	386,857	20 仮受金	1,292,034	0	1,292,034
14 原材料	2,530,206	2,746,288	△216,082				
15 立替金	0	20,405	△20,405				
16 前払金	28,222	0	28,222				
24 仮払金	2,584,068	0	2,584,068				
002 固定資産	232,495,389	220,266,676	12,228,713	012 固定負債	19,481,408	18,327,836	1,153,572
001 基本財産	12,801,460	14,325,460	△1,524,000	07 退職給付引当金	19,481,408	18,327,836	1,153,572
02 建物	12,801,460	14,325,460	△1,524,000	負債の部合計	40,862,733	35,936,356	4,926,377
002 その他の固定資産	219,693,929	205,941,216	13,752,713	純資産の部			
04 機械及び装置	2,565,958	2,961,490	△395,532	013 基本金	1,578,000	1,578,000	0
05 車輛運搬具	327,618	1,501,305	△1,173,687	01 第一号基本金	1,578,000	1,578,000	0
06 器具及び備品	3,415,833	2,775,473	640,360	014 国庫補助金等特別積立金	7,032,140	8,675,373	△1,643,233
16 退職給付引当資産	19,481,408	18,327,836	1,153,572	015 その他の積立金	193,903,112	180,375,112	13,528,000
18 その他の積立資産	193,903,112	180,375,112	13,528,000	01 その他の積立金	193,903,112	180,375,112	13,528,000
				016 次期繰越活動増減差額	85,108,542	82,258,454	2,850,088
				02 (うち当期活動増減差額)	16,378,088	15,197,326	1,180,762
				純資産の部合計	287,621,794	272,886,939	14,734,855
資産の部合計	328,484,527	308,823,295	19,661,232	負債及び純資産の部合計	328,484,527	308,823,295	19,661,232

財産目録

(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

資産・負債の内訳		金額
1. 資産の部		
001 流動資産		
01 現金預金	山形銀行新庄支店(普通預金) 計5口 荘内銀行新庄支店(普通預金) 計1口 ゆうちょ銀行 計1口	46,622,678
03 事業未収金	山形県国保連(支援費)他	41,464,293
12 商品・製品	各作業科たな卸商品・製品	2,759,671
14 原材料	各作業科たな卸原材料	2,530,206
15 前払金	全国社会福祉協議会(しせつの損保掛金)他	28,222
24 仮払金	生活困窮者自立支援事業委託業務保証金	2,584,068
流動資産計(1)		95,989,138
002 固定資産		
01 基本財産		
02 建物	○山形県新庄市堀端町480番地 鉄筋コンクリート造カラー鉄板葺平家建 授産所1棟 347.80㎡ ○山形県新庄市堀端町480番地 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺3階建 車庫・作業所1棟 壹階:52.21㎡ 貳階:52.21㎡	12,801,460
基本財産計(2)		12,801,460
02 その他の固定資産		
04 機械及び装置	オフセット印刷機等 計18品	2,565,958
05 車輛運搬具	公用車 計8台	327,618
06 器具及び備品	パソコン等 計61品	3,415,833
16 退職給付引当資産	山形県社会福祉振興会 退職共済掛金事業主負担分	19,481,408
18 その他の積立資産	移行時特別積立資産等	193,903,112
その他の固定資産計(3)		219,693,929
固定資産計(4)=(2)+(3)		232,495,389
資産合計(5)=(1)+(4)		328,484,527
2. 負債の部		
011 流動負債		
02 事業未払金	臨時職員3月分賃金・3月分社会保険料等	19,875,033
15 職員預り金	職員3月分住民税・雇用保険職員負担分	214,258
20 仮受金	生活困窮者自立支援事業委託業務保証金	1,292,034
流動負債計(6)		21,381,325
012 固定負債		
07 退職給付引当金	山形県社会福祉振興会 退職共済掛金事業主負担分	19,481,408
固定負債計(7)		19,481,408
負債合計(8)=(6)+(7)		40,862,733
差引純資産(5)-(8)		287,621,794

監事監査報告書

平成 27 年 5 月 20 日

社会福祉法人 友 愛 の 里
理事長 佐 藤 東洋彦 殿

(1) 社会福祉事業区分

① 友愛園拠点区分

ア 生活介護事業

イ 就労移行支援事業

ウ 就労継続支援B型事業

エ 生活支援等事業(障害者就業・生活支援事業)

オ 特定・障害児相談支援事業


カ 法人

(2) 公益事業区分

① 最上障害者就業・生活支援センター

ア 雇用安定等事業

以上、平成26年度の社会福祉法人友愛の里、並びに経営事業所の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正に処理されていると認めます。

監 事 佐 藤 國 昭 

監 事 井 上 修 一 